

- 問1 戦国大名が自らの領国に「分国法」を制定した主な目的や歴史的背景の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 家臣が主君に打ち勝つ下剋上の風潮の中で、家臣の行動を取りしめり領国支配を固めるため。 | 2. 外国からの侵略に備えるために、全国の武士を一元的に組織化して国防を強化するため。 | 3. 朝廷の許可を得て、幕府の承諾なく独自に隣国の領地へ侵攻できる権利を確保するため。 | 4. 室町幕府の將軍の権威を高めるために、全国の守護大名に共通の規律を守らせるため。 |
|---|---|---|--|
- 問2 戦国時代の社会において、大名の本拠地として栄えた都市の事例として、越前（福井県）の朝倉氏が築き、家臣の屋敷や商人の住まいが計画的に配置されていたことで知られる場所はどこですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|--------|-------|
| 1. 博多 | 2. 堺 | 3. 一乗谷 | 4. 石山 |
|-------|------|--------|-------|
- 問3 16世紀に起きた「ルターによる宗教改革の開始」「イエズス会の設立」「フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来」という3つの出来事について、時期の早いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. イエズス会の設立 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → ルターによる宗教改革の開始 | 2. ルターによる宗教改革の開始 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → イエズス会の設立 | 3. ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の設立 → フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 | 4. フランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来 → ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の設立 |
|---|---|---|---|
- 問4 14世紀から15世紀にかけて、室町幕府の支配力が次第に弱まり、幕府の権威が失墜していきました。このような社会情勢の中で、下の者が実力で上の者を倒して地位を奪う風潮が広まりましたが、この風潮を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 尊王攘夷 | 2. 門閥政治 | 3. 大政奉還 | 4. 下剋上 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問5 1543年に種子島に漂着した船により、日本に初めて鉄砲が伝えられました。当時の種子島の鍛冶職人がその仕組みを学び国産化を進めたといわれる、この武器を日本に伝え、後に長崎などを拠点にキリスト教の布教を伴う貿易を行った国はどこですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. オランダ | 2. ポルトガル | 3. スペイン | 4. イギリス |
|---------|----------|---------|---------|
- 問6 戦国時代に各地を支配した戦国大名の多くは、「下剋上」という風潮の中で台頭しました。この時代における「下剋上」の説明として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。 | 2. 農民たちが宗教的な団結を強めることで、武士の支配を実力で排除して自治を行った。 | 3. 朝廷の権威を背景とした下級武士が、実力行使によって幕府の政治を批判し、地位を向上させた。 | 4. 幕府から任命された守護が、自らの実力を高めて隣国を吸収し、支配権を世襲していった。 |
|---|--|---|--|
- 問7 1543年に種子島へ伝来した鉄砲が、戦国時代の日本において急速に普及し、合戦のあり方を大きく変えた主な要因として正しいものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-----------------------------------|--|---|
| 1. 堺や国友などの都市の職人が高い技術を用いて、鉄砲の国内生産を可能にしたため | 2. 室町幕府が鉄砲の製造を独占し、全国の大名に無償で配布したため | 3. ポルトガル人から輸入するのみで、国内の需要をすべてまかなうことができたため | 4. キリスト教の布教を許可した大名に対してのみ、スペインが鉄砲を贈呈したため |
|--|-----------------------------------|--|---|
- 問8 戦国時代の甲斐国（現在の山梨県）を治めた武田氏が定めた「甲州法度之次第」のように、各地の戦国大名が領国支配のために定めた法について、その特徴を説明したものとして適切なものはどれか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 家臣同士の私的な争いを禁じる喧嘩両成敗などの規定を設け、大名による裁判権を強化した。 | 2. 鎌倉幕府が定めた御成敗目目をそのまま引用し、全国一律の公平な裁判を保証した。 | 3. 全国の公家を統制し、儀式や行事のあり方を細かく規定することで天皇の権限を制限した。 | 4. 朝廷が定めた律令制度を復活させ、中央集権的な国家体制を再構築することを目指した。 |
|---|---|--|---|
- 問9 1549年に鹿児島へ上陸し、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師について、彼の所属組織と人物名の組み合わせとして正しいものはどれか。なお、この人物は後に山口などでも布教を行い、胸の前で手を合わせる姿を描いた肖像画のモデルとしても広く知られている。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|--------------------------|---------------------|----------------------|
| 1. イエズス会 — フランシスコ・ザビエル | 2. フランシスコ会 — フランシスコ・ザビエル | 3. イエズス会 — ルイス・フロイス | 4. フランシスコ会 — ヴァリニャーノ |
|------------------------|--------------------------|---------------------|----------------------|
- 問10 戦国大名の武田晴信（信玄）が定めた「甲州法度之次第」のように、大名が独自に法を定めた背景を説明した次の文の（ ）に当てはまる語句を答えなさい。「戦国大名は、幕府の法が及ばなくなった自分の（ ）において、家臣の勝手な婚姻を制限したり、領民を管理したりすることで支配を強化しようとした。」 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 1. 幕領 | 2. 領国 | 3. 荘園 | 4. 藩 |
|-------|-------|-------|------|
- 問11 島根県にある石見銀山が、2007年に世界文化遺産に登録された歴史的な背景や理由として最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 飛鳥時代に日本で初めて銅が発見された場所であり、日本最古の貨幣である和同開珎の原料を供給したため。 | 2. 瀬戸内海の海運を利用して全国に銅を供給し、江戸幕府の貨幣制度の安定を支えた最大の拠点であったため。 | 3. 16世紀から17世紀にかけて大量の銀を産出し、アジアだけでなくヨーロッパ諸国との貿易においても重要な役割を果たしたため。 | 4. 明治維新後に政府によって官営模範工場が設置され、日本の近代産業の発展を象徴する場所となったため。 |
|--|--|---|---|
- 問12 1543年にポルトガル人を乗せた船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた場所はどこですか。その地理的な位置関係を示す説明として正しいものを選んでください。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 関東地方の東部に位置し、東京湾の入り口に当たる千葉県の浦賀 | 2. 九州地方の南端に位置する鹿児島県の離島である種子島 | 3. 九州地方の北部に位置し、大陸との交流が盛んだった福岡県の博多 | 4. 四国地方の南部に位置し、太平洋に面した高知県の土佐清水 |
|----------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
- 問13 戦国時代において、下の身分の者が上の身分を圧倒する「下剋上」の風潮が広まった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 朝廷が新しい官位制度を導入し、能力に応じた地位をすべての人々に与えたため。 | 2. 幕府が強力な中央集権体制を確立し、地方の武士に直接命令を下すようになったため。 | 3. 応仁の乱によって幕府の支配力が弱まり、各地で実力による領国支配が行われるようになったため。 | 4. 農業技術が向上したことで農民が完全に自立し、武士による支配が消滅したため。 |
|--|--|--|--|